

入学式 誓いのことば

出会いと別れの季節「春」。

私たち新入生238名は今日、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校に入学します。

今、私たちの胸の中にあるのは、少しの不安と未来への希望です。

現在、世界は大きな困難に直面し、その影響は、私たちの日常生活にも波及しています。しかし、このような困難や課題を、サイエンスの力で解決できる人になることこそが、私たちの目指すサイエンスエリート(エリート)の姿だと思います。

前に進もうとするとき、不安はいつもつきまといます。

それでも、私たちは前を向き、ここで出会った仲間とともに助け合い、先へと進みたいと思います。

私たちは、学びます。

私たちはこの学校で、科学の知識や知恵、技術を学びます。それだけではなく、美しい文章、物事の考え方、世の中の仕組み。「初めて」を学び、吸収します。

そして、自らを学びます。何をしたいのか、どこへ向かっているのか。誰も知らない「わたし」を見つけます。

私たちは、挑戦します。

だれも見たことのない世界にたどり着くために。

まだ科学者の卵でしかない私たちが、その殻を破り広い世界へ羽ばたくその日を夢見て、私たちはこの先へ挑み続けます。

今年は、附属中から進学する生徒と高校から入学する生徒が融合する節目の年です。

私たちが混ざり合い、どのような反応を起こすのか、強い結びつきを見せるのか。それを決めるのは自分自身です。私たちの意思で、行動で、大きな化学反応を起こし、未来を創っていきます。

私たちの前に広がるのは、未知の世界です。

どこまでも続く道と、その先に広がる無限の可能性が私たちを待っています。一人ひとりのその道が、どこへ向かって伸びているのかは、まだ、分かりません。

しかし、迷い、歩みが遅くなった時、私たちの道しるべになるのは、未知への好奇心です。

私たちはその道しるべを頼りに、仲間と共に、目指すべき未来に向かって歩み続けることを、今日ここに誓います。